



餅つき大会に参加して

1年生 宇治愛菜

12月14日に愛生園で行われた「餅つき大会」がありました。入所者さんと交流を深める目的をもち看護学生5人で参加しました。杵で餅をつく際に、私たちは、おいしくなるように、「よいしょ!」「よいしょ!」と声をかけ応援しました。お餅が出来ると、スタッフの方が、きな粉餅やぜんざいを作られ、私たちは入所者さんのところへ配っていき、「つきたてのお餅を食べられるのはうれしいな」「おいしいね」「おかわりをいただける」など笑顔で言われ、私たちは嬉しく、お餅を召し上がっておられる姿をそばで見守っていました。また、入所者さんは友人や職員の方とお話をしたり、楽しい時間を過ごされていました。

行事を通して、参加する入所者さんを支えるスタッフが役割分担をしてひとり一人が責任をもち、また連携を図り行事を盛り上げる姿や嚙下状態を観察しながら行事を支えることで入所者さんの安寧と安全につながることを学びました。

季節を感じられる行事の大切さと入所者さんの笑顔を目の当たりにし、看護学生として何ができるのかを考えて入所者さんに寄り添っていきたいと思いました。



「よいしょ!」「よいしょ!」
美味しくなるように、みんなで
声をかけ応援しました。



おかわりのぜんざいや
きな粉餅をお持ちしましょうか?



美味しかったよ。

